



OSHI BOSS
AWARD 2022

ワーク・クール！ ライフ・ウォーム！で賞

大人審査員「一押し」

推しの理由

仕事の問題解決能力が高そう。

新しい課題にチャレンジしたり、Out of Box的な仕事の仕方が良いと思った。

気分を左右されず相談し易い雰囲気作りをしている。

ツールを駆使し業務シェアを進め、WLB可能な職場作りをしているところ。

部下からの信頼が厚そう。

メンバーのライフを応援し、趣味や家族の話題を度々交わしているから。

業務において「推せる」理由を複数の部下から提示され説得力があったこと、推薦理由について、他の管理職が見てお手本にしやすい（再現性がある）と思いました。

部下の属性が画面で見ただけでも日本男性、インド男性、日本女性と異なるのが良かったです。まさに「多様な人」をマネジメントできるボスだと思いました。

部下がどんなことでも相談しやすい、というのは、ボスにとって非常に重要な要素だと思います。それを海外出身の方が実践されていることに驚きました。小さな努力をたくさん積み上げてこられたのだろうと、容易に想像できます。多様性の重要性が日々まじっていく中、シダさんのようなボスが増えていったらいいなと率直に思いました。

従来の日本人管理職の弱点である、多様性を尊重した職場づくり、部下の多様な意見を聞きながらのソリューション形成、といった点で、マネジメントに関しては1位に推したいボス。

ロジカルな考え方で効率的に仕事をしている一方で、フランクな関係を築いていた。

気分を左右されずポジティブでリーダーはいてくれるだけで周りの雰囲気が明るくなって物事が良い方向に進むと思うから。日本語の勉強を熱心に行っている姿も、部下も頑張れる要因になると思ったから。

部下の仕事も私生活も全力で応援している姿が素敵で、仕事上の関係でも私生活についてフランクに話せる中になるのはすごいことだと思ったため。

仕事においても家庭からにおいてもオープンなため、部下から信頼されている感じがしたから。

国境を超えた仲の良さとお互いのリスペクトが伝わってきた。

仲間からの信頼も厚く、自分は前向きな人についていきたいので、ポジティブで明るい性格という魅力に惹かれたから。

部下を信頼、尊敬しているということが、自分にとって真新しい考えだったから。

会社の人から慕われている雰囲気が感じられたから。

推しボスポイントが明確で、サポートティブなリーダーであり、ポジティブであるというシダさんの魅力がとて伝わってきました。日本語の勉強にも熱心で、チームのことを常に考えている姿勢が素晴らしいと思いました。

推しの理由

業務がサポートできるようにヒアリングの実施や日常会話を織り交ぜて職場の雰囲気を和らげることが出来ていると感じた。また、好感が持てる人柄で部下のモチベーション創出にも繋がっていると感じた。

社内の雰囲気作りや効率よく仕事が進められるような見直しや構築を行っているという紹介を通して、他の社員からの信頼が厚いということが伝わってきたから。また、働く人同士の国籍が違うからこそ、ワークライフバランスやダイバーシティへのしっかりとした考えをもっているということが伝わってきたから。

従業員への充実したサポート力、ポジティブな考え方、信頼と尊敬を両立した関係
外国人なのに日本人従業員から各々の視点から見える推しポイントを持っていた
お互いを支えあえる雰囲気作りがうまい
話し方や伝え方が可愛い

チームをどんなものにしたいというビジョンや軸がしっかりあり、体現していらっしゃいます。
仕事だけでなく、各メンバーを取り巻くライフも大事であると考え一人ひとりを応援してくれるのはメンバーにとってもすごく嬉しいことなのではないでしょうか。

各メンバーのライフを気かけたり、突発的な時に対応に慌てないような仕組みを日ごろからつくっていたり、メンバー一人ひとりを尊重していたりと、非常に自律的なチームをつくっているように見えました。

現チームは恐らく各自が自律したメンバーなのでベストマッチしていると思いますが、もし新卒やフォローが必要なメンバーがいた場合にはまた対応が少し変わってくるのでしょうか。そうなったときのSiddharthさんのマネジメントスタイルも気になります。

当たり前のことではないですが、どの人も信頼されている、サポートしてくれるというのは評価されていたので、その中でも業務のシェアをして目を配ってくれることと気分によって左右されずにいつでも明るい雰囲気
で相談しやすいという点は、自分が部下として働くときと想像したときにとっても働きやすくありがたいなと感じた。

推しボスポイントを聞いていると推薦者の方々からの熱い支持を感じた。

外国人の上司が日本人の部下から推しボスとして推薦されることに対して、他にはない素晴らしさを感じた。
言葉や文化の違いという壁を乗り越え、部下のライフやモチベーションを高め、信頼を得るということは決して簡単なことではないからである。尊敬される上司とは、必ずしもカリスマ性だけで成り立つものではなく、自ら努力する姿勢が部下の目に映ることで尊敬へとつながっていくのだとこのプレゼンから感じた。

授与したい賞の名前

フランクで賞

一緒に仕事がしたいで賞

切磋琢磨し合えるで賞

この人についていきたいで賞

素敵なリーダーで賞

一緒に仕事したい上司で賞

ここで働きたいで賞

理想のリーダーで賞

仕事が楽しくなるで賞

自律的チームビルディング賞

いつでも柔らかく見守ってくれる太陽で賞

一緒に目標を達成したいで賞

不可能を可能に変えるで賞

Always Learners常に学ぶ人で賞

やさしくポジティブ賞

推しボスのお手本で賞

ダイバーシティマネジメント賞

私のボスになってほしいで賞